

アスリートの
視界を



はたらく人の

SWANS

安全へ。

スワンスには、 安全を支える ノウハウがある。

SWANS

トップアスリートと共に挑み続けてきた SWANS。

極限の環境に耐える強さ、期待を超える機能、

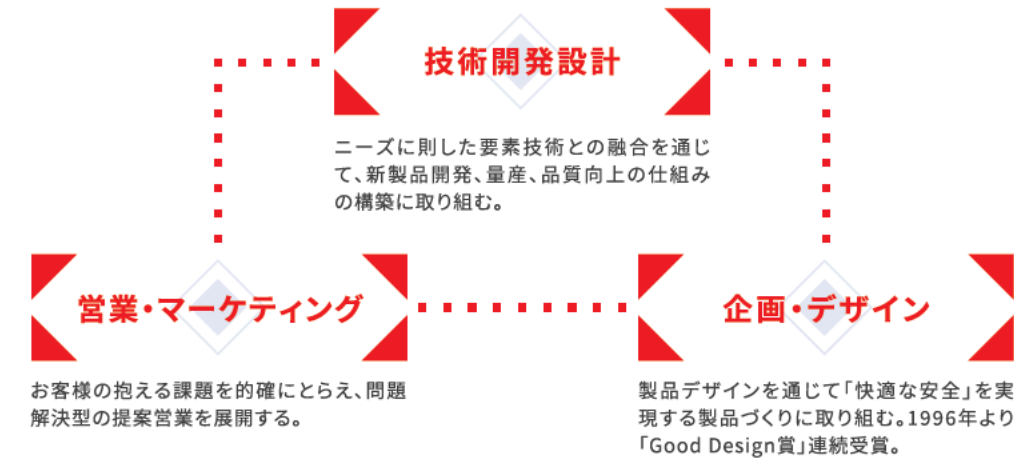
パフォーマンスを最大限に引き出す技術。

そのすべてを、今度ははたらく現場のプロのために。

ココ オドル ケシキ

開発体制

ニーズや技術の価値を正確に捉え、山本光学の総合力でお客様に安全で快適な製品と関連する情報やサービスを提供しています。また営業・マーケティング、企画・デザインとの強固な連携を通じ、一人ひとりが創造力、提案力とスピーディーな行動力を発揮することで、社内外の技術の融合による既存事業の最適化と、先端技術の取り込みによる新製品・新規事業の創出に取り組んでいます。



品質への取り組み

当社の品質に対する姿勢を品質方針に定め、各部門において品質マネジメントを推進しています。

品質方針	グローバルスタンダードの商品を創り、お客様に最高の満足をお届けし、信頼ある企業を目指す。		
ISO9001取得 JIS認定工場	 JQA-QM4531 山本光学株式会社 全社 本社、東京支店、大阪工場、 淡路東浦工場、淡路北淡工場、徳島工場、 徳島漆畑工場、徳島物流センター 産業安全用保護具、スポーツ用各種用品の 設計・開発および製造販売	 JIS T 8141 遮光保護具 (大阪工場:JQ0508044 遮光めがね、 フィルタプレート) (徳島工場:JQ0520006 遮光めがね)	 スポーツ用アイガード 製造事業認証工場 (淡路北淡工場:登録番号147-001)
	JIS T 8147 保護めがね (大阪工場:JQ0508045 保護めがね) (徳島工場:JQ0508043 保護めがね)		

環境への取り組み

環境に配慮し、製品材料の回収や再利用、自然エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。



山本光学株式会社 swans.co.jp

スポーツ事業部

本社
〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8
TEL.06-6783-1102(代) TEL.06-6783-1103(代) FAX.06-6789-0058

東京支店
〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル8階
TEL.03-3868-5505(代) TEL.03-3868-5508(代) FAX.03-3868-5506



要望に合わせた高機能レンズ開発

レンズメーカーとして培った〈光コントロール技術〉によって、特定の対象物・状況に合わせた高視認性レンズ【ULTRA LENS（ウルトラレンズ）】を開発。過酷な環境でプレーするトップアスリートの厳しい要望に応え続けています。

課題 スポーツによって求められる視界の要素が異なる。

解決 トップアスリートと共同で各スポーツに特化したレンズの開発。

ULTRA
LENS

for GOLF

自然な視界色のままボールがくっきりと見える



課題

ゴルフ⇒空に消えていくボールを見やすくしたい。芝目を見やすくしたい。

解決

ボールや芝目のコントラストを高めてハッキリと見せることでプレーの質を向上。

for BALLSPORTS

ボールやラインをくっきりと目立たせプレーパフォーマンスを高める



課題

ボールスポーツ⇒飛んでくるボールをうまく捉えられるようにしたい。

解決

ボールのコントラストを高めて見やすくすることでプレーの質を向上。

今までにない新しい価値の提案

現代スポーツシーンにおいて、ギアの革新的な進歩がアスリートのパフォーマンスを大きく向上させることがあります。SWANSはトップアスリートとの対話と長年アップデートし続ける独自の技術力によって、スポーツシーンを大きく変えるプロダクトを世に提案し続けてきました。

課題 スノーゴーグルのレンズは曇ってしまうのが当たり前。

解決 レンズを開閉してゴーグルを換気する革新的なシステムを開発。



ワンアクションでレンズを開閉する【A-BLOW SYSTEM】を開発。これによりゴーグル内を換気し、レンズの曇りを抑制する。「レンズが曇るのは当たり前」「曇ったらゴーグルを外す」というスノーシーンの常識を大きく変えました。

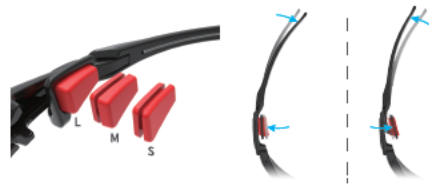
課題解決の“その先”を生み出すチカラ

スポーツの特性に合わせたフレームデザイン

レンズ開発に加えて、そのレンズのパフォーマンスを最大限に発揮するアイウェアのフレームデザインを得意としています。特にスポーツ分野においてトップアスリートの過酷な環境に対応する機能性や、膨大な骨格データを用いた日本人に最適な高いフィット感を生むデザイン力が強みです。

課題 野球のプレー中の激しい動きでサングラスがズレてしまう。

解決 こめかみでホールドする独自の構造「グラビングテンブル」を開発。



独自のフィッティング構造を開発し、激しい動きでもズレにくいフィット感を実現。
「グラビングテンブル」⇒こめかみで支えることで顔との接地面積を増やし、ズレを抑制。



課題 ランナーの走行中の上下運動でサングラスがズレてしまう。

解決 重心を下げた上下逆さまの構造「アンダーテンブル」を開発。



「アンダーテンブル」⇒通常レンズの上部から伸びるテンブル（つる）を、レンズ下部に付けることで、サングラス全体の重心を下げ、マラソンなどのランナーの上下運動に対してのズレを抑制。



Interview 野口 みずき（元マラソンランナー）

スワنزのサングラスとの出会いは、同僚選手のものを試させてもらった際、「軽さ」と「フィット感」が良かったことがきっかけでした。スワنزは「日本人の顔の形状・サイズ」に合っているので、私のような小柄な選手にもフィットする印象でした。

まずは練習でつけるようになると、つけていない時と比べて「眼の疲れに違い」があることに気づき、「強い日差し、紫外線、暑さ対策」などを含めケアするきっかけになり、大会でもつけるようになりました。つけている安心感から自分の走りができ、つけると気持ちにスイッチが入るような感覚がありました。また世界大会の時は跳びの大きな私の走りでもズレず、汗が溜らないように工夫して下さって、快適に走ることができました。



安全運転に必要な情報をドライバーに伝えるレンズ

連続的・瞬発的な判断が要求される過酷なレースシーンで活躍するドライバーとの対話やテストを繰り返しながら、「安全運転のための視界とは？」という問いに、スポーツで培った<光コントロール技術>で新しい答えを導き出しました。

課題 まぶしさを防ぐ目的以外、サングラスの必要性を感じられない。

解決 安全運転に必要な情報をドライバーに伝えるレンズを開発。

for DRIVING

赤色や黄色などのドライバーが必要な情報を強調する

- レンズカラーはグレー系 + ローズ系の色味で眼になじみやすく、フレーム設計とも相まってロングドライブがより快適なものになります。
- 白線や道路標識、信号などに使用される色彩、常に変化し続ける路面状況など、運転時に重要な情報を強調し、積極的に装着者に伝達することで、ドライバーの負担を軽減し安全性の向上をサポートします。

ULTRA
LENS



Interview ▶ ULTRA for Driving

山野 哲也 (レーシングドライバー)

運転中は誰しもが持つ危険を予測する力を活用しており、その力をサポートするレンズを開発できないかと考えました。テストを重ね、まぶしさを抑えつつ信号や標識など重要な色がはっきりと見え、コントラストが向上し距離感もつかみやすいという特徴を持った、安全運転に必要な情報を的確に伝えてくれるレンズが出来上がりました。



スポーツのノウハウは、安全な視界のために

夜間のアクティビティを安全・快適にするレンズ

運転時の「対向車や後続車のヘッドライトがまぶしい」というお悩みや、ナイトフィッシングやナイトラン時の「夜のアクティビティで少しでも明るく見やすくなれば」というご要望から、夜間のアクティビティに最適な新しい夜用レンズを開発しました。

課題 夜間の運転やアクティビティで少しでも見やすくないか。

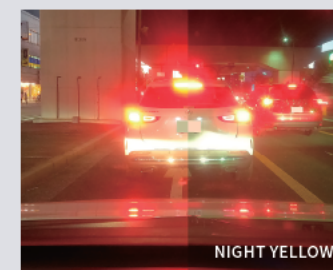
解決 明るく見せつつも、ライトのまぶしさを抑えるレンズを開発。



白色 LED 光がまぶしいと感じる青の波長の光を吸収し、車のヘッドライトなど指向性の強いまぶしさを軽減します。



雨粒によって拡散される光を吸収するため、ちらつきを抑え、悪いコンディションでも運転をサポートします。



信号機で使用される赤・黄・緑・青の4色視認性を確保しつつ、赤の波長の一部を吸収しテールランプのまぶしさを軽減します。

※ JIS規格の夜間運転基準に適合した可視光線透過率82%を確保

Interview ▶ NIGHT YELLOW LENS

ファーストライナー株式会社 (道路貨物運送業)

一般道の運転中、特に夕方や夜間是对向車のライトや周囲の光で強いまぶしさを感じやすく、歩行者や自転車も見えづらくなります。ナイトイエローを着用すると光の拡散が抑えられ、ちらつきやまぶしさが大幅に軽減されました。白線や黄色車線、歩行者、自転車も視認しやすくなり、安全性が向上する効果を実感しましたので、今後も使い続けたいと思っています。

